

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年7月9日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年7月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機燃料取出し用カバー換気設備におけるヨウ素測定(自主測定)用試料採取の不具合について】 当社社員が3号機燃料取出し用カバー換気設備において、換気設備試料採取用のヨウ素捕集フィルターがバイパスされており試料採取ができないことを確認。 現場調査の結果、バイパス状態で三方弁が結束バンドで固定されており、通気されていないフィルターを測定していたことから、過去の記録を含め全ての測定結果に信頼性がないものと判断。 また、ヨウ素測定は実施計画に定められていないが自主的に測定しデータをホームページに掲載していることから訂正を行う。 なお、実施計画で定められている1回/月の粒子状物質の測定においては、有意な変動がないことから、現在3号機使用済燃料プールについては燃料の取り出しが完了しているが、燃料取り出し期間を含め、これまでにヨウ素の有意な放出はないものと判断。 他の気体廃棄物の試料採取設備について、弁の状態を確認し問題のないことを確認。 今後、ヨウ素測定の再開を計画。</p>	GⅢ	7月4日